

令和3年度 第4回評議員会
議事録

令和4年 3月22日

一般財団法人 神戸市水道サービス公社

一般財団法人神戸市水道サービス公社
令和3年度 第4回評議員会議事録

1. 開催日時 令和4年3月22日(火) 午後2時00分 ~午後2時30分
2. 会場 (一財)神戸市水道サービス公社 会議室
3. 出席評議員数及びその氏名
評議員現在数4名
出席評議員数4名
出席した評議員の氏名 瓦田 太賀四、藤原 正廣、三宅 雅也、山本 泰生
4. 出席監事数及びその氏名
監事現在数2名
出席監事数0名
5. 出席理事の役職及び氏名
代表理事(理事長) 山本 剛司、常務理事 江本 直輔
6. 議長兼議事録作成者の氏名
山本 泰生

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom ミーティング」により参加した。

- 理事長 山本剛司 (一財)神戸市水道サービス公社会議室 神戸市須磨区大池町5-6-30)
- 常務理事 江本直輔 (一財)神戸市水道サービス公社会議室 神戸市須磨区大池町5-6-30)
- 評議員 瓦田太賀四 (個人宅)
- 評議員 三宅雅也 (神戸商工会議所会議室 神戸市中央区港島中町6-1)
- 評議員 藤原正廣 (京町法律事務所会議室 神戸市中央区京町75-1)
- 評議員 山本泰生 (神戸市水道局会議室 神戸市中央区加納町6-5-1)

7. 報告事項

- 報告事項1 令和4年度事業計画及び予算について
- 報告事項2 理事長及び常務理事の職務執行の状況報告
- 報告事項3 中期経営計画2023の改訂について

8. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認

冒頭でWeb 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認後、事務局が出席評議員を確認し本会議の成立を報告した。

(2) 議長の選出

評議員の議長として、出席評議員の中から山本評議員を選出した。

(3) 報告事項 1

「令和4年度事業計画及び予算について」

令和4年度事業計画及び予算について総務課長が報告を行った。

報告事項 2

「理事長及び常務理事の職務執行の状況報告」

理事長及び常務理事の職務執行の状況報告について常務理事が報告を行った。

報告事項 3

「中期経営計画2023の改訂について」

中期経営計画2023の改訂について常務理事が報告を行った。

(5) 閉会

以上をもって報告事項の審議等を終了したので、午後2時30分に議長は閉会を宣言し、解散した。

本日のWeb 会議システムを用いた評議員会は、終始異状なく議題の審議を終了した。

以上の決議を証するため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

令和 4年 3月 22日

一般財団法人神戸市水道サービス公社

議 長 評議員 山 本 泰 生 ㊟

議事録署名人 評議員 三 宅 雅 也 ㊟

議事録署名人 評議員 藤 原 正 廣 ㊟

<職務執行状況に対する意見>

藤原評議員

職員から業務改善の提案が出てくるようになったのはいいことであるが、令和 5 年度に実行されるのは何か事情があつてのことなのか。

江本常務理事

今回初めて業務改善の提案を募集したところ、事業化をするにあたり、熟度が足りないものも複数ある。プロジェクトチームを立ち上げて検討をしていくことになる。事業化が可能なものについては予算の範囲内で対応していく。プロジェクトチームの中でさらに新しい提案なども引き出せたらと考えている。

藤原評議員

職員の意欲が失われないように有効に活用していただきたい。

瓦田評議員

正規職員の採用に関して高卒の採用が続いているが、公社独自の技術の開発などに携われるような人材を採用する予定はないのか。

江本常務理事

大学卒の職員の採用についても考えている。来年度については高卒以外に高専卒、大学卒などを対象にプロジェクトチームを立ち上げている。公社としても神戸市と同様に若年層に地元根付いてほしいと思っている。そういった観点から近隣の学生に声をかけていきたいと考えている。